

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水晶山景観整備事業
事業主体 (連絡先)	水晶山観光開発推進同盟会 会長 松村 定利
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード事業
総事業費	1,130,000円 (うち支援金: 740,000円)

事業内容

水晶山は標高798mで、周辺では標高が一番高く地域のシンボルの山として親しまれているが、伊那谷周辺や南アルプスの眺望の確保のため雑木林で遮断されているため除間伐とジョキングコースとしての遊歩道の設置と併せ小鳥巣箱設置や間伐材活用による丸太ベンチの設置等を行う。尚、元旦零時よりの2尺玉煙火打上げ定着化に伴い啓蒙宣伝の為2尺玉筒を設置する。



【遊歩道整備】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

自然公園としての整備により、森林にふれあう場所として、地域交流イベントや地域の憩いの場として活用、生涯学習の場所として、小中学生の体験の森とする。三遠南信自動車道利用の県外観光客の森林浴、自然散策等、新たな観光資源の創出となる。

【目標・ねらい】

- 水晶山山頂付近の景観保全
- 山頂の既存施設の整備
- ジョキング等新たな観光創出

自己評価 (目標達成率) 【B】

今後の取り組み

- ・山頂付近は元気づくり支援金事業による、森林整備が進み眺望はかなり良くなったが、未着手部分があり、引き続き整備を続けたい。
- ・麓にある伊那谷道中と遊歩道で結ぶことが出来、新たな集客のため一層の整備を続けたい。
- ・頂上へ至る市道の半分程が未舗装部分で不便であり、全面舗装の推進を図りたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

除間伐
0.5ha
着手前



施工中



完了



遊歩道
整備





水晶山景観整備事業 写真



管理小屋 屋根修理前



屋根修理後



ベンチ設置

